

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (892), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 893 課コード 0902 会計種別 公営企業会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 事業費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか？
(5) 目標設定は適切か？
(6) 事業費削減の工夫をしているか？
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント
改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	895	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 施設の耐震化と水運用機能の強化	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	水道局・工務課						
	③事業主体	個別事業 経年劣化水道管路の更新改良・耐震化	④対象地区		□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数		5人 (換算人数)		1.11人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度		(当初) 378,028千円 (うち人件費 9,879千円)		(変更後) 千円 (うち人件費 千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ		○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市水道事業基本計画				
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。			事業目的		経年劣化が進んでいる水道管路施設の計画的な更新を実施することにより耐震性に優れた水道管路網を構築し、更に安心・安全で安定した水供給が可能となる強固な水道施設運用を確立する。							
(3) 事業内容	内容	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。管路耐震化及び老朽管更新にあたっては「水道管路網総合評価(耐震・重要度)」で学術的に評価した管網解析を基礎データとした「我孫子市水道管路耐震化計画(平成27年3月策定)」を踏まえ、現状の課題(更新経緯・漏水調査・老朽塩ビ管・鉛製給水管・管網見直し)を総括し将来の方向性を定めた「我孫子市水道事業基本計画(平成31年3月策定)」に基づき計画する。			当該年度執行計画		経年劣化管路(配水管)の更新・改良工事を「我孫子市水道事業基本計画(平成31年3月策定)」に基づき実施する。 ①白山 ②つくし野 ③泉 ④古戸 ⑤他事業関連 全7区 施工総延長 L=3,605m							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類		指標		単位	想定値	実績値	目標値			
当該年度	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。			直接		経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)		m	5,473		3,605			
令和4年度	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。			直接		経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)		m			9,000			
令和5年度	経年劣化管路(配水管)を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。			直接		経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)		m			4,500			
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討		○有 ●無								
(8) 施行事項	令和2年度		令和3年度				令和4年度		令和5年度					
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		経年配水管路更新・耐震化工事 水道管路工事実施設計業務委託	458,750 29,040		経年配水管路更新・耐震化工事 水道管路工事実施設計業務委託 会計年度任用職員(事務補助)×0.5	350,290 16,720 1,139	328,394 13,464 1,139		経年配水管路更新・耐震化工事				経年配水管路更新・耐震化工事 水道管路工事実施設計業務委託	
	予算(決算)額	合計		合計		合計		合計		合計		合計		
		487,790		368,149		342,997		0		0		0		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		487,790		368,149	342,997		0		0		0		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		1.41		1.11	1.11		1.41		1.41		1.41		
	正職員人件費		12,267		9,879	9,879		12,549		12,549		12,549		
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		500,057		378,028	352,876		12,549		12,549		12,549		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	92.62千円/m		104.86千円/m		99.77									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	ライフラインとして重要である水道管路施設は、法的及び学術的指針による更新時期(布設後30~40年程度経過)を迎える管路が年々増加し老朽化しており、大規模漏水など甚大な事故発生も懸念されることから、計画的かつ早急に更新を行うことが急務であるとともに更新実施時点で最も耐震性に優れた管材を使用することにより、地震に強い水道管路網を構築することが出来る。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 概ね、計画どおりの施工であった。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 水道供給事業が計画的に推進する事業であるため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし。				該当なし。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		工事で発生する廃材(土砂・路盤材・アスファルト合材)の再生資源化及び再利用を進めている。		全ての工事で「建設リサイクル法」「資源有効利用促進法」等の諸法令に基づき、現場から発生する廃材(土砂・路盤材・アスファルト合材)を再生資源化及び再利用するよう指導監督した。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(m)	目標値(b)(m)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	5,473	3,605	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(m)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 概ね、計画どおりの施工であった。		
					3,537	98.11			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	378,028	122,029	<削減の内容>		352,876	93.35	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		24.4							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	m	10万円			1	105.26			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	899	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	水道局・工務課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.46人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	10,819千円 (うち人件費 4,094千円)		(変更後)	10,646千円 (うち人件費 4,094千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	我孫子市水道事業基本計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。				事業目的	適正な水質管理のもと、安全・快適でおいしい水道水を供給する。							
(3) 事業内容	内容	水質検査計画に基づき、適正に水質検査を実施すると共に洗濯作業により市内の水質管理を行う。また、水道水への様々なリスクに対し安全性を高めるための水安全計画を運用する。				当該年度執行計画	1. 定期水質検査 (毎月1回) 2. 放射性水質検査 (毎月1回) 3. 臨時水質検査 (随時) 4. 水安全計画運用 (通年)							
		当該年度活動結果指標	水質検査計画に基づく水質検査実施率		単位	%	想定値	100		実績値	100			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	安心しておいしく飲める水道水の供給				直接	水質基準適合率		%	100	100				
令和4年度	安心しておいしく飲める水道水の供給				直接	水質基準適合率		%		100				
令和5年度	安心しておいしく飲める水道水の供給				直接	水質基準適合率		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	安心しておいしく飲める水道水の供給のために水道法等の遵守に努めるとともに、水道法等の改正による水質基準項目の変更にも適正に対応していく必要がある。また、水安全計画の策定を厚生労働省が推奨していることから作成する必要がある。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		定期水質検査	「法」浄水基準項目全項目 (51項目)	2,391	定期水質検査	「法」浄水基準項目全項目 (51項目)	5,217	5,217	定期水質検査	「法」浄水基準項目全項目 (51項目)	6,337	定期水質検査	「法」浄水基準項目全項目 (51項目)	6,337
		「法」毎月検査項目9項目	370	「法」毎月検査項目9項目	388	388	「法」毎月検査項目9項目	327	「法」毎月検査項目9項目	327	「法」毎月検査項目9項目	327	「法」毎月検査項目9項目	327
		「任」指定原水41項目	88	「任」指定原水41項目	88	88	「任」指定原水41項目	66	「任」指定原水41項目	66	「任」指定原水41項目	66	「任」指定原水41項目	66
「任」指定原水12項目	42	「任」指定原水12項目	41	41	「任」指定原水12項目	0	「任」指定原水12項目	0	「任」指定原水12項目	0	「任」指定原水12項目	0		
「任」指定原水29項目	81	「任」指定原水29項目	128	128	「任」指定原水29項目	0	「任」指定原水29項目	0	「任」指定原水29項目	0	「任」指定原水29項目	0		
「任」指定原水3項目	39	「任」指定原水3項目	38	38	「任」指定原水3項目	0	「任」指定原水3項目	0	「任」指定原水3項目	0	「任」指定原水3項目	0		
「法」+「任」指定浄水67項目	296	「法」+「任」指定浄水67項目	149	149	「法」+「任」指定浄水67項目	0	「法」+「任」指定浄水67項目	0	「法」+「任」指定浄水67項目	0	「法」+「任」指定浄水67項目	0		
「法」+「任」指定浄水10項目	89	「法」+「任」指定浄水10項目	66	66	「法」+「任」指定浄水10項目	0	「法」+「任」指定浄水10項目	0	「法」+「任」指定浄水10項目	0	「法」+「任」指定浄水10項目	0		
ダイオキシン類検査	147	ダイオキシン類検査	44	44	ダイオキシン類検査	0	ダイオキシン類検査	0	ダイオキシン類検査	0	ダイオキシン類検査	0		
放射性物質測定検査	66	放射性物質測定検査	66	66	放射性物質測定検査	0	放射性物質測定検査	0	放射性物質測定検査	0	放射性物質測定検査	0		
臨時水質検査	327	臨時水質検査	327	327	臨時水質検査	0	臨時水質検査	0	臨時水質検査	0	臨時水質検査	0		
水安全計画運用	0	水安全計画運用	0	0	水安全計画運用	0	水安全計画運用	0	水安全計画運用	0	水安全計画運用	0		
予算(決算)額	合計		3,936	合計		6,552	6,225	合計		6,877	合計		6,730	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	3,936	6,552		6,225	6,877		6,730						
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0		0	0		0						
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.46		0.46		0.46		0.46						
	正職員人件費	4,002		4,094		4,094		4,094						
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0						
	臨時職員賃金額	0		0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	7,938		10,646		10,319		10,971		10,824					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	79.38千円/%		106.46千円/%		103.19									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	・水道法第20条により、定期及び臨時の水質検査が義務付けられている。 ・水道水の水質管理は、水道事業の根本である水道水の安全性を担保する重要な業務であり、実施は必須である。 ・我孫子市水道事業中期計画において策定済みである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 水質検査は水道法により義務付けられているため必要である。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 水道事業者は、水道法第20条及び水道法施行規則第15条により、定期及び臨時の水質検査を行わなければならないと定められているため。	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 水質検査計画に沿って水質検査を実施したため。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 ■④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	10,646	△2,708	<削減の内容>		10,319	96.93	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.94		●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
					0.97	103.19			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。									

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (904), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (906), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (907), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed table for performance metrics.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 912 課コード 0902 会計種別 公営企業会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 安全な水を安定的に供給するため...
(3) 事業内容: 配水管の更新工事 (改良・拡張・基幹) 総延長分のデータ更新を随時実施する。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善策及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1821), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2037), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 2140 課コード 0902 会計種別 公営企業会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画, 当該年度活動結果指標
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5)現況値, (6)目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1)事業が今必要である理由・背景は? (2)市が実施する必要性はあるか? (3)市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4)環境に配慮して事業を進めているか? (5)目標設定は適切か? (6)事業費削減の工夫をしているか? (7)目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善策及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。